



K-TUNES RACING GT WORLD CHALLENGE ASIA

BY
YOSUKE AIZAWA
WHITE MOUNTAINEERING DESIGNER

相澤陽介氏のデザインを纏いGTワールド
チャレンジ・アジアに挑戦しています。

2024年、Fanatec GT World Challenge Asia Powered by AWS Japan Cupに参戦しているK-tunes Racingの車両・レーシングスーツをWhite Mountaineeringのデザイナーである相澤陽介氏にデザインいただきました。デザインを依頼したレーシングマシンは3台で、LEXUS RC F GT3、TOYOTA GR supra GT4は、相澤氏が得意とするダズル迷彩をベースにモトーンのデザインに。また、相澤氏のブランドWhite Mountaineeringのアイコンである三角とK-tunesのKを組み合わせ、メトロポリタンシティダズルカモフラージュを製作し、車体全面にラッピングすることで、目を惹く魅力的な車両が完成。一方で、新たに加わったFerrari 296 GT3は、赤色をベースに、こちらもアイコンである三角をモチーフとしたデザインでインパクトのある美しいレースマシンが完成。レーシングスーツは、マシンのデザインを踏襲しながら、安全性やドライビングパフォーマンスが考慮されたデザインに。これまでにはないマシン・レーシングスーツのデザインで今シーズン注目されています。

White Mountaineering

Designer 相澤 陽介



1977年10月25日生まれ。多摩美術大学デザイン科染織デザイン専攻を卒業後、2006年にWhite Mountaineeringをスタート。これまでにMoncler W、BURTON THIRTEEN、LARDINI BY YOSUKEAIZAWAなど様々なブランドのデザインを手掛ける。現在では、イタリアブランドのCOLMARにてデザイナーを務めるほか、サッカーJリーグ北海道コンサドーレ札幌の取締役兼ディレクターにも就任。その他、多摩美術大学、東北芸術工科大学の客員教授も務める。

GT WORLD CHALLENGE ASIA 2024 JAPAN CUP REPORT

98号車 (Ferrari 296 GT3) のドライバー山脇大輔選手&高木真一選手が
GT WORLD CHALLENGE ASIA 2024 Japan CUP 初代シリーズチャンピオンに!

2024年6月からGT WORLD CHALLENGE ASIA 2024 Japan CUPフル参戦2シーズン目がついに開幕! スポーツランドSUGOで行われたRd.1-2では、98号車を走らせる山脇大輔/高木真一組は2戦ともポールポジションを獲得しました。しかし、決勝レースでは2戦とも2位に。Rd.3-4の富士スピードウェイでは、2戦ともポール・トゥ・ウィン/第3戦では96号車との1-2フィニッシュを飾り、SUGOでの借りをしっかりと返しました。Rd.5-6の鈴鹿サーキットでの第5戦の予選では不運なこともありましたが、第6戦を勝ち取り98号車が3勝目で王者獲得へ王手。最終戦が行われた岡山国際サーキットでは、98号車は予選5位で決勝2位に。ついに念願のシリーズチャンピオンに輝きました!



SUENAGA Groupの役員が観戦して応援する中、98号車がシリーズチャンピオンを決めました!



鈴鹿サーキット 第5戦で、ついに96号車の末長一範選手&新田守男選手も今シーズン初優勝を飾りました。



RACE RESULT (総合順位)

[スポーツランドSUGO]	Race①	#96-5位	#97-13位	#98-2位	Race②	#96-5位	#97-12位	#98-2位
[富士スピードウェイ]	Race①	#96-2位	#97-14位	#98-1位	Race②	#96-4位	#97-14位	#98-1位
[鈴鹿サーキット]	Race①	#96-1位	#97-13位	#98-2位	Race②	#96-2位	#97-13位	#98-1位
[岡山国際サーキット]	Race①	#97-14位	#98-2位	*#96リタイア	Race②	#97-15位	#98-1位	*#96リタイア

シリーズランキング | 96号車:5位(GT3クラス)、98号車:1位(GT3クラス) 97号車:7位(GT4クラス)